

平成25年度 国分寺台東小学校「思いやり」ネットワーク事業報告

○ 基本方針

平成25年度は、当ネットワークの実質的な活動の初年度であり、引き続き地域住民に周知を図るための広報活動及び今後の活動内容に関する調査・研究を行うとともに、具体的な活動の第一弾として、地域防災の理解を深めるための取り組みを実施した。

○ 主な取り組み

1. 会議の開催

会議を開催し、具体的な活動に向けた取組み内容等の検討をした。

- ・役員会 10回
- ・推進委員会 4回（5月、8月、1月、3月）

2. ネットワークの周知活動

広報紙「思いやり」の発行（200部発行）

地域住民への小域福祉ネットワークの周知と理解を深めるため、広報紙「思いやり」第2号を発行し、広報・PR活動に努めた。

3. 「災害時救助活動」の実施（9月）

国分寺台東小学校において地域住民を対象に、住民同士の支えあい、たすけあいを共通認識とした事前防災活動の一環として「学ぼう！災害時の救助活動」を実施した。参加者延べ700名。（児童 360名 保護者 176名 一般 136名 スタッフ 30名）

4. 地域交流会の開催及び地域福祉支援事業の実施（12月）

- ①今後の活動内容に関する調査・研究として、地域交流会を実施。地域の見守り活動を行う団体やPTAなど、地域住民との意見交換をもとに地域あいさつ運動についての検討を行った。参加者延べ18名。
- ②地域福祉支援事業として、国分寺台東小学校において、マラソン記録会の中でフルーツポンチの提供を行い、地域住民に対しネットワークの周知及び地域の連携・交流を図り、地域課題の把握や今後の活動の検討へとつなげる事が出来た。参加者延べ450名。